

2025年3月20日「四国八十八か所 第1番札所 霊山寺でのお接待体験と酒造見学」

霊山寺でのお接待体験

英国からの巡礼者と私 霊山寺の池の鯉



良い天气に恵まれて貴重な体験を、させて頂いた。多くの人たちと会話を楽しむことができた。

行く時、JRにはあまり乗らないので、英国から巡礼に来られた方に尋ねた。写真の彼、親切に教えてくれた。

彼も霊山寺を訪れTIAでのお接待に興味を持って、お接待（お茶、菓子）を喜んでいた。霊山寺は、四国霊場第一番札所。天平年間(729～49)、聖武天皇の勅願道場として行基が創建したといわれる。

仁王門をくぐると鯉が泳ぐ池があり、大師堂や多宝塔、本堂などが立ち並ぶ。

巡礼者のお先達が、霊山寺について丁寧に説明して、TIAの山田さんが、それを英訳して、メンバー達は興味深く聞いていた。

TIAのメンバーが、徳島、県外、海外からの巡礼者にお接待をすることができ、貴重な経験ができた。お接待をする側もされる側も皆さん楽しんでいました。

私も何人かの巡礼者に説明、お接待をすることができた。

本家松浦酒造見学

鳴門鯛霧造り大古酒シェリー樽仕上げ（写楽浮世絵ラベル）



日本酒「鳴門鯛」を造り続けて200年の歴史を持つ、

松浦酒造の従業員から会社のルーツについて説明して頂いた。

先祖が福岡から徳島に来て酒造を始めた、何故、どのようにして徳島に来て酒造を始めたのか、

先祖は、良い意味での海賊であった。鳴門海峡を渡って徳島にやってきて酒造を始めた。

日本酒の魅力、種類（スダチ酒、にごり梅酒、にごりゆず酒、鳴門鯛酒、鳴門鯛水ト米、等）を説明して頂き、山田さんが、それを上手に英訳されて、TIAのメンバーも興味深く聞いていた。

試飲もさせて頂き、日本酒の魅力を改めて認識できた。

帰りのJRでは、TIAのメンバー（徳大のベトナムからの留学生）と会話を楽しむことができた。

当日準備をして頂いたTIAの皆さん大変だった事でしょう。

昼食も頂き1日楽しく過ごさせて頂き、ありがとうございました。

佐藤保子